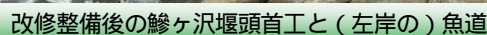
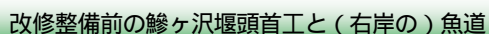


(西北地域県民局の巻 その 36)

～ 鰐ヶ沢堰地区の事業概要～ 、 の事業を合併同時施工

工 期 H26 年度～H30 年度

(L =37.5m、幅2.0m、勾配1/13.3)



～頭首工と魚道のしくみ～

【魚 君】頭首工と魚道ってどういう仕組みになっているの。

【おべ様】川から田んぼに水を取るための施設が頭首工というんだ。頭首工は川を堰き止めて、田んぼに水を引くため、田んぼより上流側に造ります。

春の田んぼを耕やす5月頃から、稲の花が咲く8月頃まで、川の中の堰（ゲート）を建てて川の水位を上げ、横の堤防に樋門樋管（ひもんひかん）という水門と暗渠（あんきょ）を設置して、水門を調整しながら水の量を確認し、下流の田んぼまで水を流してやるんだよ。

そして、川の堰を上げ、水を取っている時でも、下流から遡上（そじょう）してきた魚類等が上流に登っていくことができるように、魚の通り道を造るんだけど、これを魚道といいます。魚道は、遡上する魚の種類によって何種類がありますが、鰻ヶ沢堰頭首工に設置されている魚道の種類は、「プール（隔壁）タイプアイスハーバー型」魚道と言います。

【魚 君】どんな魚がいるのかな。

【おべ様】鰻ヶ沢堰頭首工のある「中村川」には、いろんな魚がいるよ。平成26年度から30年度まで魚の遡上調査を行った結果、27種類の魚とモクズガニが確認できたんだよ。サケも上ってきます。特に多かったのがアユ、ウグイ、ウキゴリ、カジカで、ヤマメやイワナ、スナヤツメ、ドジョウ等もいますよ。

【魚 君】鰻ヶ沢町立舞戸小学校の児童も、鰻ヶ沢堰頭首工に生き物調査に来たんですよね。

【おべ様】そうだよ。平成30年9月12日に「鰻ヶ沢堰地区環境公共推進協議会」の主催で、4年生児童が生き物調査にきたよ。「環境公共ってなに？」、「田んぼの水はどこから来るの？」、「頭首工の工事内容と工事の際に使った機械の説明の講義」、「生き物調査で使う漁具と魚の説明」、「頭首工の仕組みを分かりやすくした模型による実験」及び「水道水・川の水の水質調査」をしたんだよ。

生き物調査は、前日までの雨もあって、あまり多くの魚は取れなかったけどね。それでも子供達は「モクズガニ」がいることを確認できたし、魚を捕る本物の漁具を見られ、「頭首工の模型の説明」がわかりやすく、「水質調査等」も楽しかったから、予定時間をオーバーしちゃったんだね。来年は晴れの日「鰻ヶ沢堰地区の魚道と頭首工」をまた見に行きたいね！！

～当日の体験学習の様子～



「頭首工の模型による実験」



「生き物調査で捕獲した魚の観察」